

琵琶湖漕艇場再整備事業について

琵琶湖漕艇場は、本県のボート競技およびカヌー競技活動の中心施設として重要な役割を果たしてきた一方、施設開設後47年が経過し、管理棟や艇庫をはじめとする施設の老朽化、コース利用における安全対策などの様々な課題が顕在化している。

このため、利用者の利便性・安全性の向上や競技会場としての機能強化を図るべく、管理棟・艇庫の改築およびコース改修を実施する。

再整備の主な内容

- 管理棟・艇庫の改築・・・トレーニングルームの新設、艇庫の拡張、バリアフリー化
- コース改修・・・安全性向上のための北上移設、波の影響を低減するための消波装置の設置

1 現在の状況

昨年度に策定した基本計画をもとに、建物改築・コース改修に係る設計について競技団体等と協議しながら進めている。

2 滋賀県ボート協会とのこれまでの経緯

平成29年度

- H29. 8 再整備に関する進捗の共有
- H29. 11 基本計画策定に向けたヒアリングを実施
- H30. 1 再整備の方向性を提示
- H30. 2 基本計画案を提示
- H30. 3 基本計画策定

平成30年度

- H30. 7 設計協議(1回目)
- H30. 8 同上(2回目)
- H30. 9 同上(3回目)
- H30. 9 同上(4回目)
- H30. 11 同上(5回目)

＜滋賀県ボート協会からの主な意見と県の対応＞

項目	主な意見	県の対応
(1) 宿泊機能	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画において廃止することとされている宿泊機能については、選手強化の観点から、<u>会議室との兼用により残してほしい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画において利用状況(※)を踏まえ廃止することとしている宿泊機能について、<u>ボート協会の意見を踏まえ速やかに検討を行う。</u> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>※稼働日数：年間 47 日程度 利用者数：1,097 人 (H29) 選手強化には周辺宿舎も利用されている。</p> </div>
(2) 工事期間中の施設運営	<ul style="list-style-type: none"> 艇の出し入れ等も考慮し<u>適切なスペースを確保するとともに、円滑な競技運営に配慮してほしい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 適切なスペースの確保のための方策についてボート協会と協議を重ねており、<u>いただいた意見を踏まえ仮設施設の配置等詳細の検討を行う。</u> また、円滑な競技運営のため、<u>他の建物に先行して審判塔を設置することを検討する。</u>
(3) 工事スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 国体選考会（6月開催）や全国選抜県選考会（10月開催）については、<u>仮設施設による開催を極力避けてほしい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 意見を踏まえ、<u>支障が極力少なくなるよう工事スケジュールの変更を検討する。</u>